

平成22年7月の地震活動及び火山活動について

○ [地震活動]

7月23日06時06分に千葉県北東部でM4.9の地震が発生し、茨城県鹿嶋市で最大震度5弱を観測しました。

全国で震度1以上を観測した地震の回数は110回、日本及びその周辺におけるM4.0以上の地震の回数は75回でした。

国土地理院のGPS観測結果では、豊後水道周辺において検出された平成21年後半からの非定常地殻変動は、現在も継続しています。それ以外は特に目立った変動は見られません。

震度3以上を観測するなどの主な地震活動の概況は別紙1のとおりです。また、世界の主な地震は別紙2のとおりです。

○ [火山活動]

霧島山（新燃岳）では、5日にごく小規模な噴火、10日に小規模な噴火が発生しました。新燃岳火口から概ね1kmの範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

桜島の昭和火口では、6月中旬以降噴火活動が活発な状態で経過しました。今後、更に火山活動が活発化する可能性も考えられますので、火山活動の推移に注意する必要があります。昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に対する警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、多量の火山ガスの放出が続き、4日と21日にごく小規模な噴火が発生しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、噴火が断続的に発生しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

日本の主な火山活動の概況は別紙3のとおりです。また、世界の主な火山活動は別紙4のとおりです。

注1：噴火警戒レベルには、レベル毎に防災機関等の行動がキーワードとして示されており、導入にあたっては、噴火警戒レベルの活用が地域防災計画等に定められることが条件となります。

注2：国土地理院のGPSによる地殻変動観測については、国土地理院ホームページの記者発表資料「平成22年7月の地殻変動について」を参照願います。

<http://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/2010-goudou0805.html>

注3：気象庁の地震活動資料には、気象庁、防災科学技術研究所及び大学等関係機関のデータが使われています。

注4：地震活動及び火山活動の詳細については、地震・火山月報(防災編)平成22年7月号(平成22年8月末頃に刊行及び気象庁ホームページ掲載予定)をご覧ください。

注5：平成22年8月の地震活動及び火山活動については、平成22年9月8日に発表の予定です。